



軽井沢・中軽井沢案内所 Now!!

すっかり夏本番、子供たちも夏休みに入り、軽井沢駅は毎日賑わいを見せています。中軽井沢駅のくつかけテラスでは週末にマルシェや無料コンサートが開催され、町民や観光客など多くの方が足を止めています。軽井沢観光案内所も、観光客の増加に伴い日を追うごとに忙しくなってきました。最近では外国のお客様への外国語での対応も増えてきており、コロナ禍前の様子に近づいてきています。今年は町内各所イベントも盛りだくさん、多くの方楽しんでいただきたいと思います。

軽井沢観光会館へようこそ



軽井沢観光会館は、旧軽井沢銀座の中央に位置する総合案内所となっております。観光展示スペースに、町や浅間山周辺の地形を一望できるジオラマがあり、家族連れに大人気!

2階のテレワーク室と会議室には冷暖房や高速Wi-Fiが完備され、仕事や勉強の効率もUP! テレワークの合間に旧軽井沢銀座通りを散策し、美しい街並みや美食を堪能するのも一つの楽しみですね。

有料貸スペースでは、展示会・物産展など各種イベント開催にご利用いただけます。詳細については直接お問合せください。皆様のご来館をお待ちしています。



その他サービス

- ・手荷物預り
- ・軽井沢鉄道ミニ博物館(無料)
- ・有料お手洗い
- ・休憩スペース
- ・ルイザちゃんグッズ販売
- ・公衆無線 LAN(Wi-Fi)
- ・新聞販売(GW・夏季)
- ・モバイルバッテリーレンタル



開館時間: 9:00~17:00(夏季 18:00まで) 所在地: 軽井沢町軽井沢739番地2
休館日: 年末(例年12/28~12/31) 電話: 0267-42-5538
<https://karuizawa-kankokyokai.jp/1390/>

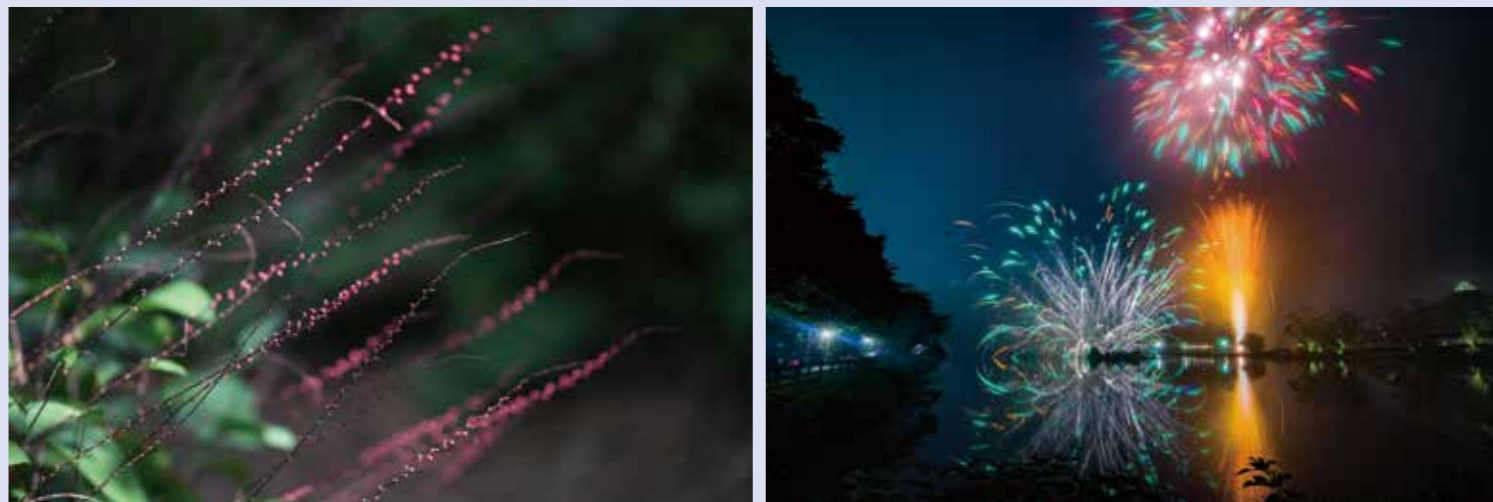
イベントスケジュール

紅葉まつりテニス大会
と き 10月8日(土)・9日(日) 予備日10日(月・祝日)
と ころ 風越公園屋外テニスコート
参 加 料 シングル: 3,300円(1名分) / ダブルス: 4,400円(1組分)
申 込 締 切 9月21日(水)
【申し込み・問い合わせ】 観光経済課 観光商工係 ☎0267-45-8579
<http://www.karuizawamomijimatsuri.info/>

ホリデーウォーク in 軽井沢2022
と き 10月23日(日)
受 付 発地市庭 第2駐車場
コ ー ス 秋の軽井沢を満喫できる町内2コース
【申し込み・問い合わせ】 ホリデーウォーク in 軽井沢事務局(信濃毎日新聞社 事業局内)
☎026-236-3399

観光ガイドと歩こう
と き 10月29日(土)・30日(日)
受 付 旧軽ロータリー臨時交番前 (スタート10分前までに集合)
ス タ ー ト 10時/10時30分/11時/11時30分
コ ー ス 雲場池または旧軽井沢銀座周辺 ※大雨の際は中止となります。
参 加 料 無料
【問い合わせ】 (一社) 軽井沢観光協会 ☎0267-41-3850

軽井沢グランフェスタ 2022 秋の大収穫祭
と き 11月3日(木・祝日) から 11月6日(日)
と ころ 軽井沢発地市庭
【問い合わせ】 軽井沢発地市庭 ☎0267-45-0037 karuizawa.hotchi-ichiba.com



~広大な夏の空の下で夢を見る町、軽井沢~
写真: 軽井沢フォトフェスト実行委員会 (上) 野辺地 ジョージ / (左) 遠山 勉 / (右) 久住 直子

Contents

- 1 Special Interview 2p
 - 新たな地域観光デザイン
- 2 委員会活動報告 4p
 - 広報委員会 広報委員体験記(軽井沢発 広域アクティビティ)
 - 総務委員会 三本の矢
 - 事業委員会 マナーを守って快適なドッグツーリズムを
 - 組織強化委員会 新体制で新たな事業がスタートします!
 - イノベーション委員会 今の時代環境に適合したイノベーションを!
 - 誘客企画委員会 With コロナでの誘客活動
- 3 Ruizaちゃん! 取材日記.....6p
 - 令和4年度 軽井沢町ホスピタリティ講演会
 - 毎月第3金曜日は Workation DAY+ 軽井沢大学院
 - 軽井沢フォトフェスト(KFF)
 - 愛犬と一緒に軽井沢をエンジョイ!
- 4 軽井沢 information.....8p
 - 軽井沢・中軽井沢案内所 Now!!
 - 軽井沢観光会館へようこそ
 - イベントスケジュール

新たな地域観光デザイン



土屋 芳春 (一般社団法人軽井沢観光協会会長) 松田 智生氏 ((株)三菱総合研究所 主席研究員・チーフプロデューサー)

当協会は軽井沢の気候や自然環境を鑑み、観光ビジョンに“ウェルネス・リゾート”を掲げ、本年信州大学との連携により研究も進めています。このビジョンを上位概念に定めることにより、選択される地域としての確立を目指しています。このような気候効果もあり、当地ではノマドワーカー(※1)やフリーランスなどが増えています。さらに、デジタル技術に慣れ親しんでいるZ世代(※2)の社会進出は、大きな地殻変動を起こす予感もあります。軽井沢は現在、ホテル・マンションや住宅建設が活況で人口の増加もあることから、今後、この社会流動化における観光戦略としての対応が求められています。

この度、社会の流動化に詳しい三菱総研の松田氏に、これからの社会予想・人々の価値の変化・選択される地域の要素などを、軽井沢の環境や風土を踏まえつつ示唆をいただきます。

(文中敬称は略させていただきます)

(土屋) 近年、人々の価値観やライフスタイルの変化が顕著ですが、軽井沢の社会性はいかがですか。

(松田) コロナ禍をきっかけに価値観や働き方が変化しています。弊社も若い世代を中心に全国で10数名が地方移住しています。一方、逆参勤交代(※3)という期間限定型のワーケーションには期待があり、特に首都圏からのアクセスや自然に囲まれた軽井沢は、魅力的なビジネスパーソンや文化人が多数集まっていることが立地的優位性となっています。地域に行く理由(必然性)は、やはり交流です。軽井沢は魅力的な人が多く、都市人材との周波数が同じなので安心感があります。一方サロンの文化面も重要で、貴関係団体共催のイベントでは、私の講演の後に世界的な若手音楽家による演奏会がありました。このような時間や機会を日常的に創出できる地域は他にはみつかりません。

(土屋) 人口減少の一方、健康的な高齢化が地域に関わりをもつことに注目が集まっています。軽井沢がCCRC(※4)への可能性はありますか。

(松田) CCRCのようなリタイアメント・コミュニティは米国の温暖な場所のイメージがありますが、私が訪問したCCRCは冬にマイナス20度になるような町でも、平均年齢は84歳、約400人の高齢者が元気で暮らしていました。居住者は東部の美しい四季を楽しめること、近隣のダートマス大学等との生涯学習や音楽、芸術などの共有に魅力を感じているようです。正に軽井沢の将来像にも同化できるかもしれません。

(土屋) 軽井沢はサービス都市であり、リアルな対面が付加価値を生み現代まで紡いできました。現在、ホテルの開業等が相次ぎ、市場性は高いものの人材不足等の観光課題があります。

(松田) 人材不足は全国共通の課題です。人口が減少する日本で都市と地方、あるいは地方同士での人材の争奪は不毛で、これからは人材の共有です。逆参勤交代の理念は、都市と地方で人材共有による地域活性化であり、地方での副業や兼業を広げることで地方の担い手不足を解消する。つまり都市と地方における

人材共有という新たなシェアリングエコノミーです。マーケティング・営業・IT・財務・SDGsの専門家、あるいは草刈りや収穫の肉体労働でも、逆参勤交代による人材共有で解決できるはずですが。

(土屋) 提唱されているプラチナ社会構想を絡めた軽井沢の可能性はいかがですか。

(松田) 弊社で提唱する「プラチナ社会」は、シルバーのように錆びることがなく、プラチナのように輝きを失わない上質な社会であり、多世代のための成熟した社会と定義しています。日本は今、課題山積みの課題先進国となっていますが、軽井沢が世界に先駆けて、高齢化・移動交通・脱炭素・未来人材育成等の課題を解決することで、プラチナ社会を達成する課題解決先進地になるチャンスがあります。ダボス会議では「最先端の経済を知りたければダボスに行け」と称されますが、軽井沢は課題解決の先進地として、「最先端の地域の課題解決や未来図を知りたければ軽井沢に行け」となるように、将来軽井沢は東洋のダボス

を目指すべきでしょう。

(土屋) 老若男女集う軽井沢ですが、次代につなげるためには特に若年層の市場開拓が必要です。

(松田) 若年層の消費額は限定的ですが、彼らはエントリー層でもあります。20代から70代以降のライフスタイルに合わせた楽しみ方が軽井沢は可能です。学生時代の思い出の土地がずっと続くような質やブランドイメージが提供できるはずですが。

(土屋) 地域課題には人財育成と集積が上げられますが、サービス業の未来についてお願いします。

(松田) 軽井沢は、ISAKや風越学園など新たな教育の場が誕生し、軽井沢高校も独自色を模索しています。さらに大学のセミナーハウスや企業の研修と連携したワーケーションによって人材育成の拠点になり得ます。私は教育はこれから最大の成長産業になると考えています。軽井沢は観光だけでなく教育産業と人材育成の先端

地になるチャンスがあります。●イノベーションは、同じ顔ぶれ・決まった序列・同質な社内文化からは生まれません。軽井沢で全国の異質なビジネスパーソンと交流し、新たな気付きを得て、非日常空間の中で化学反応が起こるはずですが。

近年注目されるワーケーションですが、私はバケーション型のワーケーションは、第二のプレミアムフライデーになりかねないと反対です。せっかく軽井沢に来るのであれば、軽井沢の人々と交流するコミュニケーション、軽井沢で学ぶ●エデュケーション、軽井沢に貢献する●コントリビューション、軽井沢で事業創造をするイノベーションという軽井沢らしいワーケーションに期待しています。

(土屋) 松田氏との対談から、軽井沢の未来予想ができます。先賢が“屋根のない病院”と謳った、標高1000mのウェルネス気候を生かした教育・芸術・文化発信都市として、

観光ビジョンを基に、その環境が創造力や感性等向上の期待と立地も含め社会の注目度が高くなっています。また、Society5.0(※5)時代に向けた次世代型都市デザインの可能性が高まります。松田氏提案のように、東洋のダボス(MICE推進/ビジネス市場開拓・研究/学術機関誘致/上質なアクティビティ/サービスの提供/人流/人脈の形成)としての先進都市になる可能性があります。しかし軽井沢の本質は、産業や経済だけではない自然・歴史・文化等に守られた、真に豊かなライフスタイル(ライフバランス)が得られ、別荘から派生したサロン文化等のコミュニティが根底にあることです。都市デザインとしては高度な難しい課題であり関係機関等との調整の必要性がありますが、当協会も新たな視点が求められています。



丸の内プラチナ大学逆参勤交代コース



- (※1) ノートパソコン・スマートフォン・タブレット端末などを使い、Wi-Fi環境のある喫茶店やコワーキングスペースなど、通常のオフィス以外のさまざまな場所で仕事をする人。
- (※2) 1990年後半から2000年代に生まれた人を指す。Y世代(80~90年代ミレニウム世代)の次世代という名称。物心ついたときからデジタル技術の発達があり親しんでいる点が特徴。Webによる情報収集・SNSでのコミュニケーションなど、ライフスタイルの中心にデジタル技術が存在している。
- (※3) 都市部社員の地方での期間限定型リモートワークで、働き方改革と地方創生の同時実現を目指す構想。個人のワークライフバランス、企業の健康経営、地域の担い手不足解消やローカルイノベーションという個人・企業・公共の“三方よし”が期待される。
- (※4) Continuing Care Retirement Communityの略称で、高齢者が健康な段階で入居し、継続的なケアを受けながら「ずっと楽しく暮らせるまち」として、終身で暮らすことができる生活共同体。全米で約2千ヶ所、約70万人が居住。
- (※5) サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会を指すもの。

- イノベーション=新思考や新技術によって新価値を生む革新や刷新・変革
- エデュケーション=学び・教育
- コントリビューション=貢献・寄付・出資

松田 智生 氏

(株)三菱総合研究所 主席研究員・チーフプロデューサー

1966年東京生まれ 慶應義塾大学法学部卒業 専門は地域活性化、アクティブシニア論 高知大学客員教授、政府日本版CCRC構想有識者会議委員、内閣官房地方創生×全世代活躍のまち検討会委員、内閣府高齢社会フォーラム企画委員、石川県ニッチトップ企業評価委員、浜松市地方創生アドバイザー、岐阜市政策顧問等を歴任 著書として「明るい逆参勤交代が日本を変える」「日本版CCRCがわかる本」

広報委員体験記（軽井沢発 広域アクティビティ）

新型コロナウイルス感染症第7波、その中で感染予防をしながらも軽井沢の夏は沢山のお客様が訪れています。「ようこそウェルネスリゾート軽井沢へ！」迎え入れる側の皆さんは少しでも安心して楽しんで頂けるよう細心の注意を払って「おもてなし」をされています。

7月16日に軽井沢滞在者向けの広域アクティビティのひとつ「JR東日本 定期観光バスとオーブントップバスで行く 新しい魅力発見 小諸佐久エリア」に参加しました。軽井沢発の屋根のないバスに乗って、軽井沢特有の天然ミストシャワーを浴びながら高峰高原へ行ってきました。

また、ガイドさんの軽井沢三宿の歴史に耳を傾けながら、途中の小諸市ではラベンダー摘みをしたり、標高2000mの高峰高原はニコウキスゲが満開で、いつもと違うディープな景色を楽しみました。たくさんの新鮮な



外気を身体に浴びながらのバス旅は最高です！

これからも、軽井沢観光協会 広報委員会はホームページとSNS等の発信に力をいれて、軽井沢での滞在を楽しんで頂けるよう、各種アクティビティをご紹介していきたいと考えております。

広報委員会 小林 里恵



三本の矢

新たに名称を総務委員会(旧未来構想委員会)として、三本の矢(尾沼委員長、滝沢副委員長、坂井幹事)で事務局管理を中心に、自主事業と会員拡大を使命とし、ホスピタリティ強化推進の講演会開催(※1)・軽井沢高原を美しくする会・景観美化協議会への協力・各種支援活動(ガイドの会・募金など)を行っていきます。

(※1)P6 令和4年度 軽井沢町ホスピタリティ講演会参照

【軽井沢高原花いっぱい運動植栽】

2022年6月14日(火) 合計45苗

植栽場所:

軽井沢町観光振興センター及び
軽井沢観光会館



【第一回ウクライナ人道危機救援金】

実施期間:2022年3月30日~5月31日

募金総額:36,316円

送付先:在日ウクライナ大使館



総務委員会 尾沼 好博

マナーを守って快適な ドッグツーリズムを

軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクトは「犬と人間が健康で楽しく暮らせる町軽井沢」をめざして、2016年から事業委員会の下部組織として活動しています。今年度は2年ぶりに軽井沢MAP with DOGを制作する事ができました。当プロジェクトは「ワンチャン連れの観光客に軽井沢にどんどん来て下さい」というものではありません。元々犬連れの観光客や別荘にペットを連れていらっしゃる方の多い軽井沢です。犬が好きな人も嫌いな人も快適に過ごせる町であるべきと考えます。現在、マナー啓発にも注力するお出かけ支援アプリ(※1)を開発する民間企業との連携を進めています。(※1)P7の「Wan! Passアプリ」を参照・活用ください。



karuizawa-withdog.com

事業委員会 和貝 たかね

新体制で新たな事業がスタートします！

組織強化委員会は、本年度より新体制で新たなスタートを切りました。

これまでの軽井沢WEB検定は持続可能な事業として引続き今年も実施します。そして、昨年久しぶりに開催して好評だった「合格者集いの会」もバージョンアップして開催予定ですので、参加資格がある方は楽しみにお待ちください。

また、インスタグラムによるフォトコンテストも開催中ですので皆様のご参加をお待ちしております。

そんな写真で繋がる軽井沢に新しく本格的な事業が加わります。軽井沢在住のプロ写真家、野辺地ジョージ氏総監督の下、来期に跨り本格的な屋外写真展を開催予定ですので是非ご期待ください。詳細はP7の「軽井沢フォトフェスト(KFF)」をご参照ください。



写真でつながる
2022軽井沢フォトコンテスト
◀詳細はこちら



「軽井沢検定公式テキストブック」
オンデマンド印刷による販売開始！
◀詳細はこちら

組織強化委員会 鈴木 健夫

今の時代環境に適合した イノベーションを！

イノベーション委員会では、今の時代環境に適合したイノベーションを推進します。とは言え、ただ変えれば良いというものでもなく、軽井沢町の歴史や文化的背景を踏まえ、後世に残すべき、変えざるべきものをしっかりと見極めをしていく必要性があります。我々が生きている「今」を大切にしながら子供たちの「未来」に向けて、今成すべきことも多々あると考えていて、その視点が欠如しがちですが、とても大切なこと。既に取り組みを推進しているWorkationや軽井沢パスポート構想、周辺の市町村との広域連携での取り組みを通じ、人々が自分らしく、笑顔でいられる時間を多くするためのイノベーションを推進していきます。

イノベーション委員会 森 和成

With コロナでの 誘客活動

コロナ禍の影響が続いていますが、局面を分析しながら適切な誘客活動に努めてまいります。短期的には「マイクロツーリズム」であり、その先はミドル・ロングと緩和とともに出発地の距離が伸びてくると推測します。ミドルでは2024年春に北陸新幹線が敦賀延伸を予定しており、福井県と軽井沢町が連携協定を締結いたしました。福井県は関西圏との交流が深く、この締結による活動が関西圏からの誘客につながるかと考えております。ロングでは「インバウンド」ですが、将来的には軽井沢町を通る「ルート開発」が誘客に繋がると考えております。軽井沢町・長野県・民間企業などのお力を借りながら、国内外に誇れるルートの研究・開発に努めてまいります。

誘客企画委員会 佐藤 剛



『Ruiza ちゃん！取材日記』



令和4年度 軽井沢町ホスピタリティ講演会

軽井沢で幸せに働くヒント！

コロナ禍においてリモートでのやり取りが多くなりました。そこで改めてリゾート地「軽井沢」で受けるおもてなしを見直す必要があると感じ、経営ジャーナリスト・中小企業診断士でYouTubeでもご活躍されている瀬戸川礼子氏を講師としてお招きしました。

本来であれば今年の2月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況により延期になってしまい、5月27日(金)当協会総会の記念講演としてハイブリッド型での開催となりました。軽井沢でお客様におもてなしをする際のヒントをたくさん頂きました。今後も軽井沢でのおもてなしをより質の高いものにしていけるよう、多くの皆様にご参加いただける講演を開催していきます。

経営ジャーナリスト・中小企業診断士
瀬戸川 礼子氏



総務委員会 坂井 博之



YouTube

【瀬戸川 礼子の幸せに働き生きるヒント】

毎月第3金曜日は Workation DAY + 軽井沢大学院

これまで開催していたテレワークデイズを新たにWorkation DAY + 軽井沢大学院として、毎月第3金曜日に開催いたします。

9:00～16:00はワーケーション体験で、協会加盟施設の一部を無料開放いたします。18:00～はオーデパールアンフェール(飲食は自費)にて「軽井沢大学院」を開催します。毎月スピーカー(講演者)をお招きして「学びの場」と「コミュニティ形成の場」を創り、交流の場としていきます。

どなたでもご参加は大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。

2022年(令和4年)の開催予定は、下記のとおりです。

※開催予定日は変更になる場合がございます。

- 2022年9月16日(金)
- 2022年10月21日(金)
- 2022年11月18日(金)
- 2022年12月16日(金)



詳細は、軽井沢リゾートテレワーク協会ホームページをご覧ください。 <https://karuizawa-work.jp>

豊かなライフスタイルは軽井沢から始まる

軽井沢リゾートテレワーク協会

事務局 新宅 弘恵



軽井沢フォトフェスト(KFF)

組織強化委員会では、写真による町おこし事業として、軽井沢在住の写真家・野辺地ジョージ氏を総監督に迎え、富士フィルム様等の支援の下、軽井沢フォトフェストを開催します。KFFでは、ニューヨークの Photoville (<https://photoville.nyc/aboutus/>) の様に写真をターポリンに印刷して野外展示します。町内外の写真家・写真愛好家による軽井沢町での撮影に限定し、地元にも根ざした活動として参加者全員で作上げるボトムアップ型の写真祭です。展示は2023年4月1日～5月14日の間、矢ヶ崎公園／町役場前の湯川ふるさと公園／追分公園／諏訪の森公園等を予定。開催までに、軽井沢フォトガイド・軽井沢フォトウォーク・ワークショップ等を開催し、応募の促進と軽井沢への誘客を促します。



軽井沢フォトフェスト 実行委員長 遠山 勉



←イベント詳細はコチラ
軽井沢フォトフェスト公式ホームページ

愛犬と一緒に軽井沢をエンジョイ！

軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクトは、マナー啓発を軸とした愛犬とのおでかけ支援アプリ「Wan!Pass(ワンパス)」を展開するペッツオーライ株式会社と連携して、ドッグフレンドリーな町づくりによる地域の活性化を目指していきます。このアプリは、愛犬と一緒に訪れることができる場所が一目でわかるマップ機能と並行して、犬のしつけやマナー向上に大きな仕掛けがあるアプリです。犬が好きな人も苦手な人も、軽井沢を訪れる全ての皆様が笑顔で滞在していただけるよう、本プロジェクトでは「Wan!Pass(ワンパス)」の利活用を推進していきます。



←Wan!Passアプリ

軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクト
プロジェクトリーダー 西山 紀子



名前を呼んでアイコンタクト



足元でおとなしく待つ